

2006年8月に兵庫県丹波市山南町において国内最大級の恐竜の化石が、地元の足立冽・村上茂両氏によって発見されました。この長らく丹波竜という愛称で呼ばれていた恐竜は、2014年に記載論文中において *Tambatanis amicitiæ* と命名され、さらに発見から 10 周年の今年4月にその復元骨格模型が完成しました。この復元骨格は丹波市の展示施設「ちーたんの館」に展示されており、人と自然の博物館には展示されておりません。しかし、その原型となった 3D モデルは人と自然の博物館の恐竜ラボにおいて作成されました。

丹波竜の復元骨格の 3D モデルは、丹波竜の化石と丹波竜と系統的に近いと考えられる恐竜の化石の 3 次元像をコンピューター上で合成して作成されました。丹波竜の化石は全身の 6 分の 1 しか発見されておらず、しかも変形しています。こうした場合、従来の欠損部分を粘土で作成して補うという方法では精巧な復元骨格を作成することは不可能でした。しかし、近年発達した 3D モデリングの技法を活用して復元骨格の 3D モデルをつくり、さらにそれを 3D プリンターで実物大

に打ち出すことにより、精巧な復元骨格模型を作製することに成功したのです。人と自然の博物館では、今年の夏にこの 3D モデルのもとになった丹波竜の化石とそれと一緒に発掘されたカエル化石等を展示し、合わせて丹波竜の 3D モデルの作成過程を解説するセミナーを行います。

ぜひ一度博物館までお越しください。

三枝春生（自然・環境評価研究部）



写真1 丹波市山南町における恐竜発掘



写真3 「ちーたんの館」における丹波竜復元骨格模型の組み立て作業



写真2 丹波竜の復元骨格 3D モデル  
(作成：三枝春生)

トピックス

新入館員 自己紹介



館長補佐兼総務課長  
山本 諭

長年県立学校で勤務して参りましたが、初めて博物館で仕事をする機会をいただきました。

「ひととはく」では利用される方々にとって魅力的な博物館づくりのお手伝いができればと思っています。

よろしくお願いたします。



生涯学習課長  
安井 健二

4月に生涯学習課長に着任しました安井です。

当博物館にお越しいただく方々にとって、「学べる博物館」「何度も来たくなる博物館」になるよう、スタッフと協力しながら取り組んでいきたいと思っています。よろしくお願いたします。

おんこしゃしん だいさくせん  
温古写真 大作戦!!  
むかしの写真で未来をつむごろう

特集  
収蔵資料展



コウノトリの営巣風景の古写真（出石鶴山）